

JA 全農 ET センターニュース平成 20 年 10 月号

今月号は酪農・畜産情勢の厳しさが国内にて継続する中、全農畜産生産部が牛受精卵に関して緊急対策を打つことを決定しましたので、その概要を報告させていただきます。なお、詳細については府県の方は全農本所畜産生産部生産振興課（担当：小田島：TEL：03-3245-7224）、北海道内の方は ET センター（担当：宮越または大野：TEL：01564-2-5811）までお気軽にお問い合わせください。

1. 受精卵の緊急価格改定と新規メニューについて

和牛種雄牛の価格ランクを平茂勝、北国 7-8、第五隼福、北勝隆 25 および第 6 栄で 3 千円から 1 万 2 千円の幅で下げることとしました。

人工授精しても受胎しづらいリピート牛対策受精卵として、高育種価種雄牛として期待される鈴金 1 および鈴幸（アニマル・ジェネティクス社所有、血統は父：金幸、母は北海道育種価が増体かつ BMS でトップクラスの高体型牛：母の父：福桜：母の祖父：安平）の全兄弟 2 頭の精液を使用して作成した登録可能な和牛体内受精卵を 1 万円から 1 万 2 千円で供給させていただきます。酪農家において受胎してもう 1 産、搾乳が可能となればその経済効果は図りしれないものがあります。是非お試しください。

新規種雄牛として、産子の評価が期待されている平忠勝（山形県から正規ルートで供給のもの）および茂花国（LIAJ）を加えました。

今回のリストから、ホルスタイン種 X 受精卵（雌生産が 90% 前後の割合で期待できます）の新規供給を開始いたします。ドナーは未経産牛ですが、その母親は乳量が 1 万 Kg 以上、体型得点が 8.5 点以上のものを今回はピックアップしております。使用した X 精液はジェネティクス北海道が供用している高体型が期待できるブルブラッド、高能力ならびに高体型が期待できるインディアローの 2 頭です。現在のところ X 受精卵のダイレクト凍結による ET センター場内受胎率は 70% を得ておりますので、安心して御利用ください。酪農家の雌生産の一助になれば幸いです。

2. 受精卵利用農家に対する不受胎時の負担軽減対策要領の概要について

目的：受精卵を活用した和牛子牛生産は、酪農経営において重要な収入源の一つであるが、移植した受精卵が受胎しなかった場合には、受精卵と移植料が損失となるため、厳しい経営環境の中で酪農家の負担も大きくなっている。このため、受精卵が不受胎となった場合、移植料見合いを助成することによって生産者の負担軽減をはかることを目的とする。

対策内容

系統畜産農家が本会受精卵を購入し移植後不受胎となった場合に 1 万円を助成する。

対象品目は全農 ET センターから出荷したすべての受精卵（凍結卵、リピート対策卵、X 受精卵、新鮮卵、預かり精液で作出した受精卵および預かり供卵牛で作出した受精卵、ただし持込採卵による受精卵は除く）

対象期間：平成 20 年 10 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日までの出荷分

支出条件

ア．受胎・不受胎は、妊娠鑑定 D 60 日（胎齢 50～70 日齢）までに確認する。

イ．不受胎確認時期は、平成２１年９月３０日までとする。

ウ．対策費支出申請の締め切りは、平成２１年１０月末とする。

対策金額

１万円／受精卵１個（税抜き）

支出手順

ア．全農受精卵移植報告書は、全農受精卵を出荷した時に受精卵とともに送付する。

イ．移植した全農受精卵については、受胎・不受胎関係なく全て記入し、月末締め
の翌月１０日までに全農ＥＴセンタ－にＦＡＸする。

ウ．妊娠鑑定は、必ず胎齢５０～７０日齢の範囲で実施し、妊否確認日、妊否（
＋、－）を記入する。ただし５０日齢までに発情発見等不受胎であると確認
できればその日を妊否確認日とする。

エ．添付資料として、全農受精卵移植報告書（写し）を提出する。なお、「不受胎」の場合は、家
畜体内受精卵証明書および体内受精卵移植証明書の原本を必ず提出する。

以 上